

営農企画部

農業三団体とのJA全農福島 合同意見交換会を開催

福島県内の農業三団体、うつくしまふくしま農業法人協会・福島県青年農業士会・JA福島県青年連盟とJA全農福島は、9月27日（木）にホテル福島グリーンパレス（福島市）で、合同の意見交換会を開催しました。農業三団体・JA全農福島のほか、JAグループ福島（JA福島中央会・JA共済連福島・農林中央金庫）など44名が参加しました。

意見交換会では、各農業者団体から事前にJA全農福島へのご意見・ご要望をいただき、それに対する回答として各部門から説明やご提案を申し上げ、さらなる意見交換を行いました。

県産農畜産物のPRに対する考え方、米の海外輸出についての展望、共同購入トラクタへの要望、農家所得向上に向けた規格外品の取扱についてなど、より具体的に様々な意見や要望が出されました。また、TACのあり方、労働力不足に伴う人材の確保、若手農業者が抱く農業の将来への不安など、解決していかなければならない課題も多く出され、活発な意見が交わされました。

また会の後半では、JA全農福

島からの情報提供として、共同購入トラクタの取扱実績や、8月に開催した業務用多収穫米セミナーでのアンケート結果を報告しました。さらに、30年度に収穫された業務用契約栽培米「ちほみのり」と「ゆみあずさ」を試食してもらい、参加者実際に味わっていただきました。

最後に、猪股孝二県本部長から「本日はみなさんより、貴重な意見や想いをお話いただき、有り難く思います。現在、3カ年計画策定に向けて、今後どのようなことに取り組んで行くべきなのか、各部門それぞれに検討をしているところですので、いただいた意見を十分に踏まえ、進めて参ります。」と挨拶がありました。

次回「第2回意見交換会」は2〜3月頃の開催を予定しています。



活発な意見が交わされました

管理部

全農福島SR事業 「田んぼの生きもの調査隊」

JA全農では、地域社会の一員としてSR（社会的責任）活動に積極的に取り組んでいます。「田んぼの生きもの調査」は、田んぼの豊かさや生きものとの関係を体感してもらおうと、農家、消費者と一緒に田んぼに入って、これからの日本の農業や食、環境について真剣に考えてみようというSR活動の一環です。

30年度は、JA福島中央会とJA福島県青年連盟の協力により、県南地域や会津・いわきを中心に、県内の小学校の授業や農業体験の一貫として行われました。（春の生き物調査17ヶ所、秋の生き物調査3ヶ所にて実施。）

10月9日（火）には、JA夢みなみが平田村立小平小学校で生き物調査を行いました。小平小学校は、7月の調査が猛暑の影響で中止となったため、今年はじめての生き物調査となりました。

（株）全農ビジネスサポートの山崎敏彦講師の指導のもと、短い時間にもかかわらず、児童たちはトウキョウダルマガエル・コオイムシ・イナゴなど、次から次へ生き物を捕まえ、観察用の虫かごは

あっという間にいっぱいになりました。生き物を観察しながら、説明を聴く児童たちは興味津々の様子で、「コオイムシをたくさん捕まえたし、大きなアカガエルも捕まえて嬉しかった」「虫が嫌いだったけど、少し好きになりました」と笑顔で感想を述べてくれました。



たくさん捕まえました！（平田村立小平小学校）

畜産部

株式会社湯浅ファームが最優秀賞に輝く 〜第51回JAグループ福島肉牛枝肉共励会〜

JAグループ福島肉牛振興協議会とJA全農福島は、10月11日（木）に東京都中央卸売市場食肉市場において、第51回JAグループ福島肉牛枝肉共励会を開催しました。

この共励会は、JAグループの生産農家から出荷される肉牛を対象として、『福島牛』の品質向上を支援するために毎年開催しています。

共励会の前日に品川の東京マリオットホテルでおこなわれた懇談会では、多数の購買者と生産者のあいだで、『福島牛』の品質と産地の将来について活発な意見交換がおこなわれ、翌日の共励会にむけた購買者の意気込みが感じられました。



最優秀賞の枝肉セリ価格



最優秀賞に輝いた(株)湯浅ファームの社長（右）と専務（左）

当日の共励会では、和牛去勢、和牛雌をあわせて80頭が出品され、4等級以上の上物率は90%を占め、全体的に好成績となりました。そのなかで、株式会社湯浅ファームの枝肉が最優秀賞の栄誉に輝き、審査講師では「きめ細かいサシで肉質に優れた良質な枝肉」との評価を受けました。

この枝肉は福島県内のヨークベニマルの店舗で、11月1日〜4日のあいだ、「福島牛チャンピオンフェア」と銘うって販売されますので、ご賞味いただければ幸いです。

畜産部

鈴木獎悟氏がグランドチャンピオン受賞！ 〜福島県ホルスタイン共進会〜

10月20日（土）、ホルスタイン種雌牛の体型のバランスや機能の優秀さなどを競う福島県ホルスタイン共進会が開催されました。本大会は今回で35回となり、34頭が出品されました。

JAグループからは3名の生産者から7頭が出品され、そのなかで鈴木獎悟氏（JAふくしま未来）の出品牛「ヒルトンステージラスタープラットET」号が農林水産大臣賞（グランドチャンピオン）および第6部（生後48ヶ月以上の経産牛）優等賞、ベストアダール賞に輝きました。また、第1部（生後8ヶ月以上12ヶ月未満の未経産牛）では同じく鈴木獎悟氏の出品牛「ヒルトンステージラスターマスレード」号が優等賞、第5部（生後36ヶ月以上48ヶ月未満の経産牛）では浅川輝大氏（JA会津よつば）の出品牛「シヤローリバーケンT M フィーバー W8」が一等賞に選ばれたなど、日ごろの手入れや飼養管理の成果が十二分に発揮された大会となりました。



鈴木獎悟氏（JAふくしま未来）出品牛「ヒルトンステージラスタープラットET」号



鈴木獎悟氏グランドチャンピオン受賞式の様子

上位に入賞されたみなさま方、おめでとうございました。

- 入賞者のみなさん
- 第1部 優等賞 鈴木 獎悟氏（JAふくしま未来）
- 第3部 二等賞 浅川 輝大氏（JA会津よつば）
- 第4部 二等賞 浅川 輝大氏（JA会津よつば）
- 第5部 一等賞 鈴木 獎悟氏（JAふくしま未来）
- 第6部 優等賞 浅川 輝大氏（JA会津よつば）
- 鈴木 獎悟氏（JAふくしま未来）
- 成田 昌弘氏（JA会津よつば）